

川崎市建築物環境配慮制度受付番号 14078

建築物名称	プラウド宮崎台フロント
建築主	野村不動産株式会社 住宅事業本部 事業推進二部長 榊原 洋
建築物の所在地	川崎市宮前区宮崎2丁目9-2、9-20
設計者氏名、建築士事務所名	小川 洋行 株式会社奥村組 一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	7,581.16m ²
用途	共同住宅
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上14階
工事完了年月	平成29年1月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	なし

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency

CASBEE川崎

■使用評価マニュアル: CASBEE川崎2011年版改訂版Ver.2 (BPIBEE対応) 使用評価ソフト: CASBEE川崎(01) 6.1.0 (BPIBEE対応) CASBEE川崎_20100602.2.0

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ブライド宮崎台フロント	階数	地上14階
建設地	川崎市宮前区宮崎2丁目9-2・9-20	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	352 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年1月 竣工	評価の実施日	2015年1月10日
敷地面積	1,717 m ²	作成者	作野
建築面積	774 m ²	確認日	2015年1月22日
延床面積	7,581 m ²	確認者	作野

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.9

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 64%
③上記+②以外の 64%
④上記+ 64%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 3.3**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 3.8**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

CASBEE川崎2011 (v.3.1) (BPI/BEI対応) CASBEE-NCb.

プラウド宮崎台フロント

14078

重点項目についての環境配慮概要		実績重点項目スコア 合計/ 重点項目最高点のスコア合計	重点項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
緑の保全・回復(G)		Gの平均点	2.8
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物資源の保全と創出	川崎市景観計画に則した外壁面の色彩とする。	2.3/4.3	2.6
2 まちなみ・景観への配慮			
3 3.2 敷地内温熱環境の向上			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0
地球温暖化防止対策の推進(W)		Wの平均点	3.5
Q-1 ■ 室内環境対策			
2 2.1 2.1.3 外皮性能	断熱等性能等級4	4.4/4.9	4.5
3 3.1 3.1.3 屋光利用設備	住居:バルコニー庇、カーテンレールの設置		
3.2 3.2.2 屋光制御			
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物資源の保全と創出	川崎市緑化指針に適合した計画とする。	1.1/2.3	2.3
3 3.2 敷地内温熱環境の向上			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物の熱負荷抑制	省エネ対策等級4	4.7/5.0	4.7
2 自然エネルギー利用	太陽光発電の利用		
3 設備システムの高効率化	エコジョーズ、LED照明を採用		
4 効率的運用			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
1 水資源保護	節水型便器を採用	2.6/4.6	2.8
2 非再生性資源の使用量削減	LGS+ボード仕上げとする		
3 フロン・ハロンの回避	発泡剤のノンフロン使用		
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0
資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)		Rの平均点	2.9
Q-2 ■ サービス性能対策			
2 2.2 部品・部材の耐用年数	劣化対策等級3の躯体とする	0.3/0.5	3.2
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
1 水資源保護	節水型便器を採用	2.0/3.9	2.6
2 非再生性資源の使用量削減	LGS+ボード仕上げとする		
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.3 地域インフラへの負荷抑制	自転車を住戸数の200%確保	0.3/0.4	3.9
ヒートアイランド現象の緩和(H)		Hの平均点	3.3
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物資源の保全と創出	川崎市緑化指針に適合した計画とする。	1.1/2.3	2.3
3 3.2 敷地内温熱環境の向上			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物の熱負荷抑制	省エネ対策等級4	4.7/5.0	4.7
2 自然エネルギー利用	太陽光発電の利用		
3 設備システムの高効率化	エコジョーズ、LED照明を採用		
4 効率的運用			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点 **3.2**

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要		実績スコア合計/ 最高点のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
建設段階			
Q-2 ■ サービス性能対策			
2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3の躯体とする	0.1/0.1	5.0
修繕・更新・解体段階			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
2 2.2 既存建築躯体等の再利用		0.8/1.4	3.0
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			
運用時のエネルギー			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物の熱負荷抑制	省エネ対策等級4	4.7/5.0	4.7
2 自然エネルギー利用	太陽光発電の利用		
3 設備システムの高効率化	エコジョーズ、LED照明を採用		
4 効率的運用			

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

OASBEE川崎2011年版追加版Ver.2 (BPI/BEI対応)		ブラッドバンク台フロント		欄に数値またはコメントを記入		スコアシート		実施設計段階		14078	
配慮項目	G	W	R	H	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
						評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質										3.3	
Q1 室内環境							0.40			3.7	
1 音環境						4.0	0.15	3.3	1.00	3.4	
1.1 騒音						3.0	0.50	3.0	0.50		
1 室内騒音レベル						3.0	1.00	3.0	0.50		
1.2 遮音					T-2以上	5.0	0.50	3.6	0.50		
1 開口部遮音性能						5.0	1.00	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能								3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								3.0	0.20		
1.3 吸音											
2 温熱環境						2.0	0.35	4.4	1.00	4.0	
2.1 室温制御						3.0	0.50	5.0	0.71		
1 室温					断熱等性能等級4	3.0	0.63	-	-		
3 外皮性能		W				3.0	0.38	5.0	1.00		
4 ゾーン別制御性											
2.2 湿度制御						1.0	0.20	3.0	0.29		
2.3 空調方式						1.0	0.30	-	-		
3 光・視環境						3.0	0.25	3.7	1.00	3.5	
3.1 屋光利用						3.0	0.30	4.0	0.35		
1 屋光率					住戸:6.9%	3.0	0.60	5.0	0.50		
2 方位別開口								3.0	0.30		
3 屋光利用設備		W				3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策						3.0	0.30	4.0	0.35		
2 屋光制御					住居:バルコニー庇、カーテンレール	3.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度						3.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御						3.0	0.25	3.0	0.29		
4 空気質環境						3.6	0.25	3.6	1.00	3.6	
4.1 発生源対策						4.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質					全面的にF☆☆☆☆使用	4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気						3.0	0.40	3.0	0.38		
1 換気量					0.28>1/6	3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能								3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理											
1 CO ₂ の監視											
2 喫煙の制御											

Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.4
1 機能性				3.0	0.40	3.8	1.00	3.6
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	4.0	0.60	
1	広さ・収納性							
2	高度情報通信設備対応		Cat5eケーブル採用			4.0	1.00	
3	バリアフリー計画			3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	3.5	0.40	
1	広さ感・景観		LD, 居室CH=2550			4.0	0.50	
2	リフレッシュスペース							
3	内装計画			3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理				3.0	0.30			
1	維持管理に配慮した設計			3.0	0.50			
2	維持管理用機能の確保			3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性				3.1	0.31			3.1
2.1 耐震・免震				3.0	0.48			
1	耐震性			3.0	0.80			
2	免震・制振性能			3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.33			
1	躯体材料の耐用年数	R	劣化等級3	5.0	0.23			
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	R		2.0	0.23			
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	R		2.0	0.09			
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	R		3.0	0.08			
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	R	すべてBを使用	5.0	0.15			
6	主要設備機器の更新必要間隔	R		2.0	0.23			
2.4 信頼性				3.6	0.19			
1	空調・換気設備			3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		節水便器使用、共用部を別系統	4.0	0.20			
3	電気設備			3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		耐震クラスA	4.0	0.20			
5	通信・情報設備		光ケーブルに対応、地下水位が低いため浸水の危険性がない	4.0	0.20			
3 対応性・更新性				3.0	0.29	3.6	1.00	3.5
3.1 空間のゆとり						4.2	0.50	
1	階高のゆとり		階高:3020			5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ					3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり						3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	1.00			
1	空調配管の更新性			3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		維持管理対策等級2	3.0	0.17			
3	電気配線の更新性			3.0	0.11			
4	通信配線の更新性			3.0	0.11			
5	設備機器の更新性			3.0	0.22			
6	バックアップスペース			3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30			3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50			

LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.7
1 建物の熱負荷抑制	W	H	LEDの採用 複層ガラスの採用	5.0	0.40		-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.5	0.20		-	3.5
2.1 自然エネルギーの直接利用	W	H		3.0	0.50		-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	W	H	太陽光発電の利用	4.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化	W	H	LEDの採用 複層ガラスの採用	5.0	0.40		-	5.0
集合住宅以外の評価 (ERRIによる評価)								
集合住宅の評価				5.0				
4 効率的運用								
4.1 モニタリング	W	H						
4.2 運用管理体制	W	H						
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護	W	R		2.2	0.15		-	2.2
1.1 節水				1.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	1.00		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無							-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.7	0.63		-	2.7
2.1 材料使用量の削減	W	R		2.0	0.07		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	W	R		3.0	0.24		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	W	R	-	3.0	0.20		-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	W	R	-	1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	W	R		2.0	0.05		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	W	R	LGS+ボード	4.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.22		-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.68		-	
1 消火剤	W			-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)	W		ノンフロン使用	5.0	0.50		-	
3 冷媒	W			3.0	0.50		-	
LR3 数地外環境				-	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮	W		CO2排出率85%	4.4	0.33		-	4.4
2 地域環境への配慮				3.1	0.33		-	3.1
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善	G	W	H	3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.5	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減		R		3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制		R		3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制		R	住戸数の200%確保	4.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制		R	ディスプレイの採用	4.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
1 騒音				3.0	1.00		-	
2 振動				-	-		-	
3 悪臭				-	-		-	
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40		-	
1 風害の抑制				3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制							-	
3 日照阻害の抑制				3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制				4.4	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のつら外に漏れる光への対策			光害対策ガイドライン9項目該当、広告物照明なし	5.0	0.70		-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30		-	

14078

プラウド宮崎台フロント

このマンションは分譲住宅環境性能表示の届出を行っています。

建築主は分譲共同住宅環境性能表示を販売広告に掲載した日から15日以内に届け出る
ことになっており、これにより公表しています。



この表示は川崎市の定めた基準に従って、建築主が自らの計画を評価した内容に基づいています。